

報告 後奏 感謝祈祷	祝 禱	頌 栄	献 金	賛 美	説 教	聖書朗読	使徒信条	礼拝祈祷	交 誦	主の祈り	賛 美	賛 美	招 詞	前 奏	2月12日 聖日礼拝
	聖歌376	聖歌376	聖歌523	聖歌523	しかし、正しい人は その信仰によって生きる 荻野泰弘牧師	ハバクク書 2章1〜4節 3章17〜19節			詩篇103篇1〜18節		御手の中で	聖歌28	詩篇46篇10節		
													「やめよ。知れ。わたしこそ神。わたしは国々の間であがめられ地の上であがめられる。」アーメン		

■聖歌28「わかくさのまきばより」

- ①若草の牧場（まきば）より 花さく森より  
うるわしき造り主 われ歌いまつらん
- ②空に照る光より 夜空の月より  
照りわたる救い主 われたたえまつらん
- ③わが憂い 主は変えて 歌としたまいぬ  
世をこぞり 主に帰(き)せよ すべての栄えを

■御手の中で

- ①御手の中で すべては変わる賛美に  
わがゆく道を 導きたまえ あなたの御手の中で
- ②御手の中で すべては変わる感謝に  
わがゆく道に あらわしたまえ あなたの御手のわざを

■主の祈り 天にましますわれらの父よ。ねがわくは 御名をあげさせたまえ。御国をきたらせたまえ。御心の天になるごとく、地にもなさせたまえ。われらの日用の糧を今日もあたえたまえ。われらに罪をおかすものを われらが 赦すごとく、われらの罪をも赦したまえ。われらを ころみにあわせず 悪より救いいだしたまえ。国と力と栄えとは かぎりなく なんじのものなればなり。アーメン

■交読 詩篇103篇1～18節

- 1 わがたましいよ 主をほめたたえよ。  
私のうちにあるすべてのものよ  
聖なる御名をほめたたえよ。
- 2 わがたましいよ 主をほめたたえよ。  
主が良くしてくださったことを何一つ忘れるな。
- 3 主は あなたのすべての咎（とが）を赦し  
あなたのすべての病（やまい）を癒（い）やし
- 4 あなたのいのちを穴から贖（あがな）われる。  
主は あなたに恵みとあわれみの冠（かんむり）をかぶらせ
- 5 あなたの一生を 良いもので満ち足らせる。  
あなたの若さは 鷲（わし）のように新しくなる。
  
- 6 主は 義とさばきを  
すべての虐（しいた）げられている人々のために行われる。
- 7 主は ご自分の道をモーセに  
そのみわざをイスラエルの子らに知らされた方。
- 8 主は あわれみ深く 情け深い。  
怒るのに遅く 恵み豊かである。
- 9 主は いつまでも争ってはおられない。  
とこしえに怒ってはおられない。
- 10 私たちの罪にしたがって  
私たちを扱うことをせず  
私たちの咎（とが）にしたがって  
私たちに報いをされることもない。

- 11 天が地上はるかに高いように  
御恵みは 主を恐れる者の上に大きい。
- 12 東が西から遠く離れているように  
主は 私たちの背（そむ）きの罪を私たちから遠く離される。
- 13 父がその子をあわれむように  
主は ご自分を恐れる者をあわれまれる。
- 14 主は 私たちの成り立ちを知り  
私たちが土のちりにすぎないことを  
心に留めてくださる。
- 15 人 その一生は草のよう。  
人は咲く。野の花のように。
- 16 風がそこを過ぎると それはもはやない。  
その場所さえも それを知らない。
- 17 しかし 主の恵みは とこしえからとこしえまで  
主を恐れる者の上にあり  
主の義は その子らの子たちに及ぶ。
- 18 主の契約を守る者  
主の戒（いまし）めに心を留めて行う者に。

■使徒信条 われは天地のつくりぬし、全能の父なる神を信ず。われはそのひとりご、われらの主、イエス・キリストを信ず。主は聖霊によりてやどり、おとめマリヤよりうまれ、ポンテオ・ピラトのもとにくるしみをうけ、十字架につけられ、死にてほうむられ、よみにくだり、三日目に死人のうちよりよみがえり、天にのぼり、全能の父なる神の右に座したまえり。かしこよりきたりて 生けるものと死にたるものとを さばきたまわん。われは聖霊を信ず。聖なる公同の教会、聖徒のまじわり、罪のゆるし、からだのよみがえり、とこしえのいのちを信ず。アーメン

■聖書朗読 ハバクク書 2章1～4節、3章17～19節

- 2章 1 私は、自分の物見のやぐらに立ち、  
砦にしかと立って見張り、  
私の訴えについて、主が私に何を語られるか、  
私がそれにどう応じるべきかを見よう。
- 2 主は私に答えられた。  
「幻を板の上に書き記して、確認せよ。  
これを読む者が急使として走るために。」
- 3 この幻は、定めの時について証言し、  
終わりについて告げ、偽ってはいない。  
もし遅くなっても、それを待て。  
必ず来る。遅れることはない。
- 4 見よ。彼の心はうぬぼれていて直ぐでない。  
しかし、正しい人はその信仰によって生きる。」

- 3章 17 いちじくの木は花を咲かせず、  
ぶどうの木には実がなく、  
オリーブの木も実がなく、  
畑は食物を生み出さない。  
羊は囲いから絶え、  
牛は牛舎にいなくなる。
- 18 しかし、私は主にあって喜び躍り、  
わが救いの神にあって楽しもう。
- 19 私の主、神は、私の力。  
私の足を雌鹿のようにし、  
私に高い所を歩ませる。

指揮者のために。弦楽器に合わせて。"

■聖歌523「この世のたびじに」

①この世の旅路に 君はわが身を 導き助くる 強き友なり

※しとうイエスよ しとうイエスよ 近くましたまえ 常に わが身と

②楽しみ求むる 愚かさやめて 共に担わばや イエスの十字架を

③死かげの谷にも 荒るる海にも 共に ましまさば 露も恐れじ

■頌栄 聖歌376「父 御子 御霊の」

父・御子・みたまの おおみかみに とこしえかわらず  
御栄えあれ 御栄えあれ アーメン